



平成 30 年 1 月 30 日

被爆者の方々と本学留学生による日本伝統文化体験

日時：2月5日（月）、2月9日（金） 13:30~15:00

場所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園2階ホール

被爆者の方々と本学留学生による日本伝統文化体験を、下記のとおり、広島原爆養護ホーム舟入むつみ園において実施しますのでご案内します。

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園デイサービスに通う被爆者の皆様に教えて頂きながら、本学に在籍する留学生が日本文化体験を行います。本学からは留学生をはじめ日本人学生ならびに教職員が参加します。

参加者は当日、書初めか水墨画のいずれかを選択し、被爆者の方々とともに日本の伝統文化を体験します。本企画は、留学生が被爆者の方々と一緒に筆で字を書くという初めての体験をすることで「自分の祖父母と同じ世代である被爆者の方々の人生に思いを巡らせ、平和の尊さを再認識し平和を希求する精神を涵養する」ことを目的としています。

また、被爆樹木や似島での犠牲者埋葬の歴史について作業開始前の10分間で説明し、その理解を深めます（説明担当：嘉陽/英語通訳：永井）。

- ※1 当日は被爆体験講話等の時間は設けておりません。
- ※2 5日と9日は同じ内容を実施します。
- ※3 書初めで書く文字は指定せず、好きな言葉を自由に書いてもらいます。
- ※4 水墨画スケッチに使用する題材は以下の二つです。

(1) 被爆樹木の枝（直径約 30 cm長さ約 50 cm）：爆心地に最も近い場所に位置する相生橋東詰め北側の土手に生えているシダレヤナギの一部分で、枝の幹の中心が腐朽し空洞になってしまったことから、昨年 11 月に治療処置のため切除されたもの。

(2) スイセン（直径約 30 cmの鉢植え）：似島にて生育していたもの。原爆投下後に多くの遺体が埋葬された場所（民有地）から採取。

当日は一緒に作業をした被爆者の方々と、完成作品を持って記念撮影を行います。

日 時：2月5日（月）、2月9日（金）

両日とも 13：30～15：00

場 所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園2階ホール
（広島市中区舟入幸町 14-11）

参加者：舟入むつみ園デイサービスに通う被爆者の皆様（約 20 名）
舟入むつみ園の職員の皆様（約 8 名）
広島大学在籍の留学生（8 名）（ベトナム カンボジア ラオス 他）
広島大学日本人学生および教職員（4 名）

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園と本学の関わりについて：

広島原爆養護ホーム舟入むつみ園は、外部からの慰問・視察・平和学習などで年間に約 1000 名の訪問者が訪れるなど、平和交流、平和発信の場としても重要な施設です。

本学は 2015 年 8 月 6 日に実施された被爆 70 年祈念平和企画「チェコ共和国への産業奨励館破片『デンティル』の寄贈式典」に際しての発送前対面式を始めとし、ウィーン国立音楽大学と本学からの音楽慰問訪問受け入れ、平成 29 年には「平成原爆焼」の陶器制作及び看板制作の協働作業へのご参加、「平和と自由の鳩」の協働制作作業へのご参加と寄贈式典の実施、また施設の見学会や本学学生の平和学習の受け入れ等で、むつみ園の皆様から多大な御協力を頂いております。

【お問い合わせ先】

広島大学国際室国際部 国際交流グループ 担当：嘉陽 礼文

TEL：090-1185-1620 FAX：082-424-4545

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）



被爆シダレヤナギ（相生橋東詰北側）と切除部分
（撮影 平成 29 年 11 月）



似島埋葬地に生育するスイセン
（撮影 平成 29 年 12 月）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

被爆者の方々と本学留学生による日本伝統文化体験

日 時：2月5日（月）、2月9日（金）

両日とも13：30～15：00

場 所：広島原爆養護ホーム舟入むつみ園2階ホール
（広島市中区舟入幸町14-11）

ご出席 【2月5日（月）】 ・ 【2月9日（金）】

※お手数ですが、参加される日に○をしてください。

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____（計名）

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、2月2日（金）16：00まで
にご連絡願います。